

平成23年度（公益認定前）事業報告書

自：平成23年4月1日 至：平成23年10月31日

I 公益目的事業

公益目的事業 日本の精神文化・伝統芸術である詩歌吟詠を普及振興、継承する事業
日本の精神文化である詩歌吟詠を受け継ぐ人材の育成、自主公演、一般国民への普及啓発を行う。

1 普及啓発吟詠発表会

普及の為の吟詠発表会

「普及の為の吟詠発表会」を下記のとおり3地区で開催した。

- ① 平成23年7月10日（日）北海道地区 根室納沙布岬及び根室グランドホテルホール
- ② 同年8月7日（日）関東地区 群馬県中之条町ツインプラザホール
- ③ 同年8月21日（日）関東地区 群馬県北軽井沢ミュージックホール
- ④ 同年9月23日（祝）中部地区 愛知県知立市文化会館かきつばたホール

2 青少年吟詠大会・青壮年吟詠研修交流会・高齢者吟詠大会

(1) 青少年吟詠大会

「青少年吟詠大会」（少年少女吟詠大会）を下記のとおり5地区で開催した。

- ① 平成23年4月29日（祝）関東地区 東京都小岩アーバンプラザ
- ② 同年6月12日（日）神静地区 鎌倉市レイウエル鎌倉
- ③ 同年7月18日（祝）長野地区 飯田市鼎文化センター
- ④ 同年7月30日（土）北海道地区 札幌市リフレサッポロライラックホール
- ⑤ 同年8月7日（日）北陸地区 富山県教育文化会館ホール

(2) 青壮年吟詠研修交流会

「青壮年吟詠研修交流会」を下記のとおり2地区で開催した。

- ① 平成23年9月18日（日）近畿地区 大阪市ホテルアウィーナ大阪 会員18名・一般17名参加。
- ② 平成23年10月22日（土）長野地区 木村岳風記念館・吟道研修センター 会員21名・一般11名参加。

(3) 高齢者吟詠大会（尚齒会吟詠大会）

「尚齒会岡山県吟詠大会」を平成23年10月2日（日）岡山県JA岡岡で、70歳以上の高齢者を対象として開催した。なお、出吟者60名と一般の入場者を含め約100名が参加した。

3 詩吟の指導者・継承者育成事業（師範位を認定する審査・研修事業）

(1) 上席師範の審査・研修講座

「上席師範審査・研修講座」を平成23年6月30日（木）木村岳風記念館・吟道研修センターで、全国から37名の受審者が参加して開催した。なお、資格審査合格者に認定証（許證）を授与した。

(2) 正師範の審査・研修講座

「正師範審査・研修講座」を下記のとおり2会場で開催した。

なお、資格審査合格者に認定証（許證）を交付した。

- ① 平成23年8月27日（土）大阪会場 大阪リバーサイドホテル 受審者29名。

② 同年9月17日(土) 東京会場 岳風会館・吟道研修センター 受審者60名。

(3) 師範の審査・研修講座

「師範審査・研修講座」を下記のとおり2会場で開催した。

なお、資格審査合格者に認定証(許證)を交付した。

① 平成23年 8月28日(日) 札幌会場 北海道立道民活動センター 受審者63名

② 同年10月23日(日) 盛岡会場 岩手県エスポワールいわて 受審者16名

4 吟詠教本の作成頒布

吟詠教本の作成頒布

『吟詠教本 漢詩篇(一)～(三)』、『普及版吟詠教本 漢詩篇(一)～(三)』、『吟詠教本 和歌篇(上)・(下)』、『吟詠教本 俳句・俳文・俳諧紀行文・俳諧歌・近代詩篇』、『吟詠教本 律詩・古体詩篇(上)・(下)』等を作成し、希望者に頒布した。

5 機関誌『吟道』の発行

機関誌『吟道』に事業計画及び収支予算書・事業報告及び収支決算書、主たる行事の紹介、吟道の指導及び詩歌吟詠の教材に関すること、認可団体の活動状況、詩歌関連の投稿、少年少女会員の投稿その他を掲載し、月刊誌として7回発行し、会員と関係団体及び図書館並びに希望者に配付した。

6 全国吟道講座、地区吟道講座、特別講座・木村岳風記念館吟詠講座

(1) 全国吟道講座

「第57回夏季吟道大学講座」を平成23年7月23日(土)～24日(日)、東京の日本教育会館で、全国から787名の受講者が参加して開催した。

(2) 地区吟道講座

① 「地区吟道講座」を下記のとおり5地区6会場で開催した。

ア 平成23年 9月18日(日) 九州地区 宮崎市民プラザ

イ 同年 9月25日(日) 北陸地区 射水市アイザック小杉文化ラポール

ウ 同年10月 2日(日) 中部地区 津島市文化会館

エ 同年10月10日(祝) 九州地区 須恵町文化会館アザレアホール須恵

オ 同年10月16日(日) 近畿地区 高槻現代劇場ホール

カ 同年10月22日(土) 神静地区 小田原市民会館

② 「地区吟道講座講師研修会」を地区吟道講座講師候補者養成の為、下記のとおり2会場で開催し、講師候補者17名が参加して実施した。

ア 平成23年4月26日(火)～27日(水) 木村岳風記念館・吟道研修センター

イ 同年8月 3日(水) 岳風会館・吟道研修センター

(3) 特別講座

① 「吟詠教本 俳句・俳文・俳諧紀行文・俳諧歌・近代詩篇の発刊記念講演会」を平成23年4月24日(日) 東京の日本教育会館で開催し、講師として聖徳大学教授・中野沙恵先生、国立台湾大学教授(前天理大学名誉教授) 太田登先生をお迎えし、532名の受講者が参加した。

② 「吟詠教本 俳句・俳文・俳諧紀行文・俳諧歌・近代詩篇」の説明研修会を下記のとおり9地区12会場で開催し、各会場夫々満席の盛況であった。

ア 平成23年5月 8日(日) 北海道地区 札幌道新ホール

イ 同年5月12日(木) 九州地区 諫早文化会館

ウ 同年5月19日(木) 関東地区 大田区民プラザ

エ 同年5月28日(土) 北陸地区 小松市民センター

オ 同年6月16日(木) 関東地区 春日部商工振興センター

カ 同年6月18日(土) 神静地区 小田原市民会館

キ 同年6月23日(木) 九州地区 別府市ビーコンプラザ

ク 同年7月16日(土) 北海道地区 札幌道新ホール

| | | | |
|---|------------|--------|------------|
| ケ | 同年7月16日(土) | 中国四国地区 | 岡山県総合福祉会館 |
| コ | 同年7月26日(火) | 近畿地区 | 大阪国際交流センター |
| サ | 同年7月30日(土) | 中部地区 | 津島市文化会館 |
| シ | 同年8月6日(土) | 長野地区 | 諏訪市文化センター |

7 中国移動教室、国内移動教室

(1) 中国移動教室

「第二次中国移動教室第5回」を平成23年4月2日(土)～8日(金)まで、第二次5か年計画の5年目とし「山水画の世界、桂林と唐宋八大家・柳宗元を学ぶ旅」と題し、72名が参加して実施した。また、日中文化交流の為、現地の文化団体との交流を図り、併せて中国の緑化計画に基づき、記念植樹を柳宗元縁の地、訶洲公園で行った。

(2) 国内移動教室

「第2回国内移動教室」を平成23年9月21日(水)～22日(木)1泊2日で、『海防の夜明け・維新の群像を訪ねて』と題し、山口県に於いて実施し58名が参加した。

(3) 国外支援活動

ブラジル岳風会教場と綿密な連絡をとり、吟詠指導及び教材提供等の支援を行った。

(4) 文化団体交流

公益社団法人日本吟道学院を始め各文化団体との交流を行った。

8 地区吟詠大会、地区師範吟詠大会

(1) 地区吟詠大会

「地区吟詠大会」を下記のとおり9地区で開催し、全国吟道大会の合吟コンクール及び全国優秀吟者吟道大会の地区予選を行った。

- ① 平成23年4月17日(日) 北陸地区 小松市民センター
- ② 同年4月29日(祝) 長野地区 辰野町民会館
- ③ 同年5月15日(日) 神静地区 三島市民文化会館
- ④ 同年5月22日(日) 北海道地区 札幌道新ホール
- ⑤ 同年5月29日(日) 近畿地区 高槻現代劇場
- ⑥ 同年5月29日(日) 中国四国地区 広島県民文化センター
- ⑦ 同年5月29日(日) 九州地区 須恵町文化会館アザレアホール須恵
- ⑧ 同年6月26日(日) 中部地区 津島市文化会館
- ⑨ 同年7月3日(日) 関東地区 北とびあさくらホール

(2) 地区師範吟詠大会

「地区師範吟詠大会」を下記のとおり4地区で開催した。

- ① 平成23年5月29日(日) 長野地区 辰野町民会館(師範研修会併催)
- ② 同年6月18日(土) 神静地区 小田原市民会館(吟詠教本俳句篇説明研修会併催)
- ③ 同年7月30日(土) 中部地区 津島市文化会館(吟詠教本俳句篇説明研修会併催)
- ④ 同年8月6日(土) 北海道地区 札幌道新ホール(師範研修会併催)

9 全国吟道大会、全国優秀吟者吟道大会、全国認可団体代表吟道大会

(1) 全国優秀吟者吟道大会

「第18回全国優秀吟者吟道大会」を平成23年9月4日(日)、東京の明治神宮会館で開催し、全国10地区から選出された吟者による漢詩と和歌の競吟を行った。なお、全国から出吟者及び一般の入場者を含め1,032名が参加した。

10 木村岳風記念館・吟道研修センター、木村岳風墓所の一般公開及び研修事業

(1) 木村岳風生家、木村岳風記念館・吟道研修センターの一般公開を行った。

(2) 木村岳風生家、木村岳風記念館・吟道研修センターの展示品の収集、保管、展示を行った。また、来館者に展示品の説明を行った。

(3) 木村岳風生家、木村岳風記念館・吟道研修センター、木村岳風の墓所の維持管理を行った。

- (4)「平成23年度 近代詩と俳諧歌講習会」を平成23年9月7日(水)～8(木)木村岳風記念館・吟道研修センターで開催し、全国から53名の受講者が参加して実施した。

11 震災復興支援

東日本大震災の被災者に対する支援活動を、全国の認可団体に依頼した。また、総本部主催の各行事等で募金活動を行った。なお、寄せられた義援金を平成23年12月に日本赤十字社に寄付をする。

12 その他公益目的事業達成の為下記事業を行った。

(1) 地区代表者会議

- ① 「平成23年度 第1回地区代表者会議」を、平成23年4月23日(土)岳風会館・吟道研修センターで、総本部役員と全国10地区の代表者が参加して開催し、平成23年度の総本部事業の基本理念を説明すると共に、総本部役員と地区代表者の意見交換を行った。
- ② 「平成23年度 第2回地区代表者会議」を、平成23年9月3日(土)岳風会館・吟道研修センターで、総本部役員と全国10地区の代表者が参加して開催し、平成23年度の総本部事業の中間報告を説明すると共に、総本部役員と地区代表者の意見交換を行った。

(2) 認可団体連絡会議

「平成23年度 認可団体連絡会議」を全国6地区で開催し、総本部役員と地区担当理事及び当該地区の認可団体長と事務担当者が参加し、『学院の今後の運営について』をテーマに協議し、併せて各認可団体の研修部の担当者と意見交換を行った。

- ① 平成23年 6月18日(土) 関東地区 東医健保会館
- ② 同年 9月10日(土) 北陸地区 高岡市生涯学習センター
- ③ 同年 9月17日(土) 九州地区 ひまわり荘(宮崎)
- ④ 同年10月 1日(土) 中部地区 津島市文化会館
- ⑤ 同年10月15日(土) 近畿地区 大阪リバーサイドホテル
- ⑥ 同年10月21日(金) 神静地区 小田原市民会館

(3) 認可団体の指導及び新設認可

- ① 認可団体の要請に基づき、運営その他について適切な指導を行った。
- ② 福岡岳風会に福岡吟詠会が統合したことを、平成23年4月1日付にて承認した。

(4) 広報活動

- ① 情報公開の一環として、当学院の紹介及び活動並びに大会等事業の募集案内をホームページに掲載した。
- ② 一般(不特定多数)の方々にも実際に詩吟を聞いて頂けるコーナー及び、機関誌『吟道』の巻頭詩の詩吟を視聴することができるよう毎月更新しホームページに掲載した。
- ③ 詩吟を学びたい一般(不特定多数)の方々に、その市町村レベルで当学院の認可団体の教場を検索できるようホームページに掲載した。

(5) 渉外活動

官公庁・報道機関その他関係機関との情報交換を行った。

(6) 各局、各部、各委員会の活動

上記、公益目的事業を実施する為、各局、各部、各委員会の会議を154回開催した。

(7) その他

- ① 会員登録用のソフトを希望する認可団体に提供した。
- ② 「詩歌作者事典」作成の資料作りを行った。
- ③ 「公益社団法人日本詩吟学院 吟士名鑑」(仮称)の作成の資料作りを行った。
- ④ 「日本詩吟学院八十年史」の作成の資料作りを行った。
- ⑤ 木村岳風生家及び木村岳風記念館・吟道研修センター、史料関係、各種資料、事務所関係書類等の整理、保管、管理を行った。
- ⑥ その他、当学院の公益目的事業達成に必要な事業を行った。

Ⅱ 収 益 事 業

収益事業1 吟詠カセットテープ、CD、DVD及び詩吟啓発物品の作成頒布事業

- 1 『岳風伝』、『吟詠教本俳句・俳文・俳諧紀行文・俳諧歌・近代詩篇』の吟詠CD・カセットテープなど、各種教材及び副教材を作成し、希望者に頒布した。
- 2 「第2回全国認可団体長吟道大会ライブCD」及び「松井岳洋愛吟韻読抄」吟詠CDを作製し、希望者に頒布した。
- 3 学院証、会員バッジ、吟マーク入り賞状用紙、吟道バインダー、ネクタイ、扇子、手拭い、吟マーク入りハンカチ、名刺台紙、学院メモ用紙等を作成し、希望者に頒布した。
- 4 綴込み「吟詠小冊子」を作成し、希望者に頒布した。

収益事業2 詩吟の技量審査による段伝位等の認定及び認定証（許證）を交付する事業

1 審査、資格認定

認可団体の資格審査申請に基づき、昇級段伝位の資格審査を行い、合格者に認定証（許證）を交付した。

Ⅲ その他の事業

その他の事業1 近代吟詠の祖・木村岳風回忌法要及び功労物故者会員の合祀（岳風忌）事業

1 岳風忌

平成23年7月1日（金）諏訪市地藏寺に於いて、祖宗範木村岳風先生60回忌及び宣子夫人46回忌の法要を行い、併せて会員功労物故者150柱と東日本大震災犠牲者11柱の合祀祭を行った。

その他の事業2 詩吟関係の功労者等の顕彰事業

1 顕彰

(1) 冠稱

永年に亘り学院の発展に寄与し、特に功績の顕著な者に対し審議の上、冠稱（宗佑242名、宗匠108名、宗帥32名）を贈った。

(2) 功労者表彰

吟道顕彰者 {高齢者の部（寿100歳4名、寿90歳195名）、功労者の部138名、ボランティアの部62名} に表彰状を贈った。

(3) 死亡追贈

6段位以上の有資格者の死亡に伴い、認可団体長の申請により審議の上1つ上の段伝位を贈った。

2 その他

その他、当学院の目的達成に必要な事業を行った。